



表紙シリーズ／雲仙市の子ども

## 主な内容

P2 平成27年第1回定例会概要

P9 常任委員会報告

P12 市政を問う「一般質問」

P18 議会のうごき

P20 6月定例会会期日程(案)

# 当初予算 275億円

一般会計当初予算は、歳入歳出総額275億116万5千円で、前年度と比較し約2億1千万円の増額となっている。平成27年度は雲仙市市制施行10周年目を迎え、予算編成の重点事項として、総合計画事業への取り組み、地方創生の課題である人口減少対策への取り組み、市制施行10周年記念事業等が予算化されています。

## 予算を年間収支500万円の家庭に置きかえてみると

※端数は一部繰り上げています。

### 収入

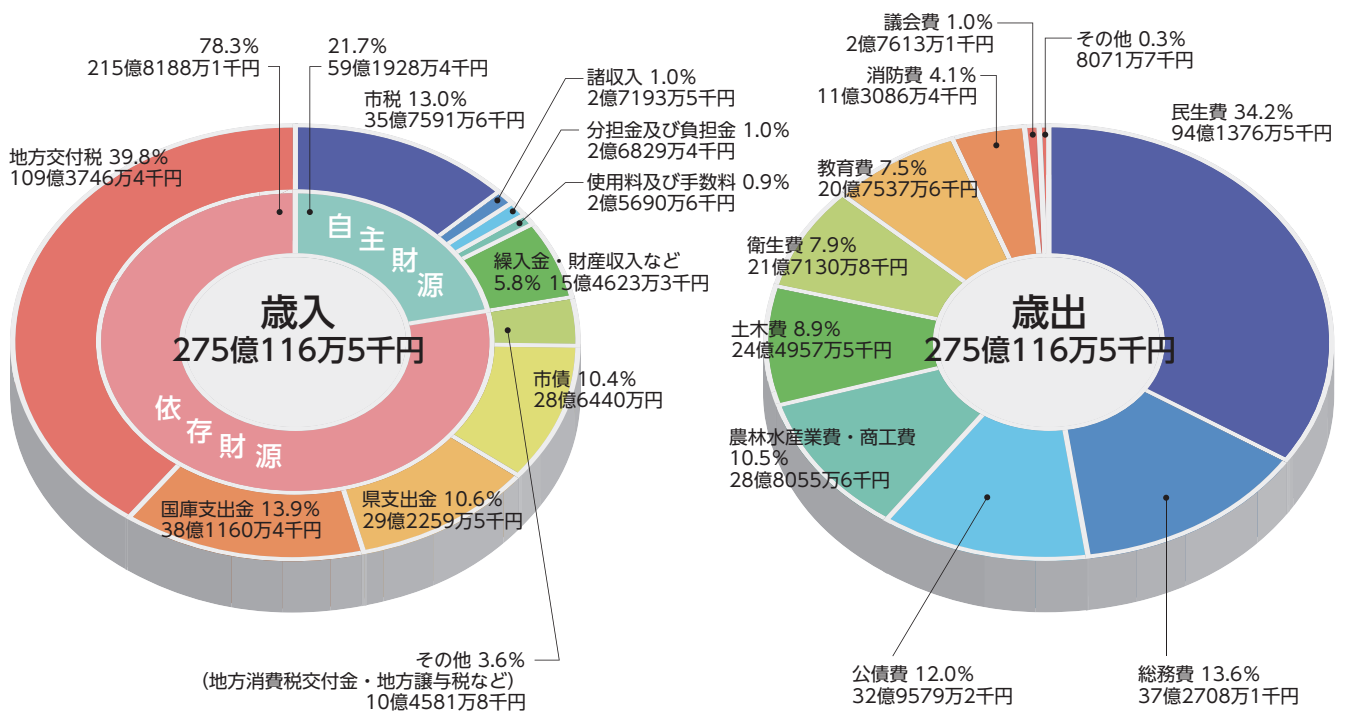
給料(市税)	65万円
パート収入(使用料・手数料など)	5万円
親からの援助(交付税・国県支出金)	322万円
預金の取り崩し(繰入金)・預金利子(財産収入)	27万円
銀行からの借入(市債)	52万円
その他	29万円
<b>合計</b>	<b>500万円</b>

### 支出

食費(人件費)	68万円
光熱費など(物件費・補助費)	118万円
医療費(扶助費)	113万円
借金の返済(公債費)	60万円
家の増改築など(建設事業費など)	77万円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	57万円
その他	7万円
<b>合計</b>	<b>500万円</b>

## 平成27年度一般会計予算

[数字は千円。%は全体に占める構成比]



# 平成27年度一般会計

## 社会保障・税番号制度システム整備事業

7,957万6千円

### ●事業目的

「社会保障・税番号制度」に対応するため、関連するシステムの改修・整備を行い、更なる行政の効率化と住民の利便性の向上を目指す。

### ●事業概要

事業期間 平成26年度～平成28年度

- 事業内容
- ・住民基本台帳システム及び地方税務システムの改修、団体内統合宛名システムの整備
  - ・国保、年金、後期高齢、児童・障害者・高齢者福祉、健康管理等のシステム改修
  - ・事業者として職員等の個人番号管理を行うための人事給与、財務会計システムの改修
  - ・中間サーバ・プラットフォームの利用に係る負担金

## ふるさと応援推進事業

1億5,153万6千円

### ●事業目的

本市のまちづくりを応援したいという意志により寄附される場合に、寄附金の円滑な受け入れ及び管理を行うとともに、その意志を具体化するために、寄附金を財源の一部として各種事業を展開する。

### ●事業概要

- 事業内容
- ①寄附額に応じたポイントを寄附者に付与し、雲仙市の特産品や宿泊クーポン券等を掲載したカタログから選定してもらった謝礼品を送付する。
  - ②謝礼品を送付することにより、市及び特産品のPRを行うとともに、地元事業者の活性化を図る。
  - ③寄附方法の利便性を図るため、4月からインターネットによる寄附の申込を、6月からクレジットカードによる寄附の納付を追加する。



# 平成26年度補正予算

## 定住促進対策事業

**524万円**

### ●事業の内容

#### 【定住促進奨励補助金】

- 中古住宅取得補助金：定額10万円+子ども加算1万円/人  
市内の中古住宅を購入し定住する55歳以下のものに対し、補助金を交付。

#### 【空き家活用促進奨励補助金】

- 家財道具等片付け補助金：上限10万円  
空き家所有者に対して、家財道具等の搬出、片付けに要する費用の一部を補助。
- 空き家物件調査補助金：定額7千円  
空き家所有者に対して、不動産業者等による空き家の状態を確認するための調査費用の一部を補助。



## 海外宣伝誘致事業

**3,310万円**

### ●事業の内容

- ①エージェント（旅行業者）招へい事業
- ②マスメディア・旅行雑誌等への広告掲載
- ③情報システム関連作業委託料（Wi-Fi整備）
- ④外国語案内板整備
- ⑤国際観光展ブース負担金
- ⑥外国人観光客受入環境整備支援事業補助金



## 地方創生総合戦略策定事業【新規】

1,025万8千円

「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴い、本市においても人口減少対策、地方創生を実現する「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定し、課題克服に向けた取り組み強化を図る。

### ●事業の内容

- 地方創生フォーラムの開催
- 雲仙市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定

## プレミアム商品券発行事業【新規】

7,616万9千円

### ●事業の内容

- 商品券発行概要
  - ・発行規模 3億円（額面3億6千万円） プレミアム率20%  
額面1万2千円を1万円で販売（500円券24枚綴）
  - ・販売開始時期 平成27年5月30日～
  - ・商品券利用期間 平成27年6月1日～11月30日まで



## 商品券多子世帯支援事業【新規】

771万6千円

### ●事業の内容

中学生までの子ども2人以上を養育する世帯に、上記プレミアム商品券に対し、1冊につき2,000円の購入費助成

- 対象世帯 1,929世帯
- 購入冊数(1世帯) 2冊まで

# 討 論



## ◆平成27年度雲仙市一般会計予算案



### 賛成討論

平成27年度は、合併10周年目を迎え、予算編成方針の重点事項として、総合計画事業では、総合計画6つの基本方針各種施策の目標値への着実な推進を図られるとともに、人口減少対策では、国の地方創生事業を活用して、特に子育て支援をはじめとした福祉対策、官民一体となった広域連携による観光産業の強化、地場産業の育成と雇用創出を重点施策として予算編成がなされています。また厳しい財政状況の中で、財政の健全化に努められるとともに、市民生活に直結する事業には、効率的かつ効果的に取り組まれた予算案であると判断し、賛成します。

【浦川 康二 議員】

### 反対討論

予算案に反対する理由は次のようなものである。第1は住宅等リフォーム助成商品券交付事業を廃止したこと。第2は社会保障・税番号制度システム整備事業は個人のプライバシーに対して重大な影響を及ぼす恐れがあること。第3は本予算が人件費の削減等を前提として組まれていること。第4は諫早湾関連予算を本当に活かすためにも開門調査に取り組み、有明海異変の真相を究明することが求められるが、市は反対の立場に立っていること。

【上田 篤 議員】

## ◆海外で戦争する国づくりをやめ、憲法に基づく平和外交を求める請願書



### 賛成討論

自民、公明両党は米軍のあらゆる戦争を支援する「戦争立法」の骨格を正式な合意文書にまとめた。いずれも憲法9条が固く禁止している行為であり、歴代政府が堅持してきた立場にも反する。さらに、安倍首相は来年の参議院選挙後に憲法改定の国会発議と国民投票を行うと表明した。日本は憲法9条を持ち、戦争はしない、武力は持たない国として世界中から尊敬されてきた。海外で戦争する国づくりではなく、憲法を生かした平和外交によって世界に貢献するべきだ。

【上田 篤 議員】

### 反対討論

政府は昨年7月、国の存立を全うし、国民を守るため、切れ目のない安全保障法制の整備について、閣議決定をなされています。この閣議決定は、わが国を取巻く安全保障環境が根本的に変容し、変化し続ける中で、安全保障法制整備の基本を示されたものであり、抑止力の向上と地域及び国際社会の平和と安定にこれまで以上に、積極的に貢献することを通じてわが国の平和と安全を一層確かなものとするためであります。海外で戦争する国づくりのための安全保障法制整備でないものと判断し、請願書は不採択が妥当である。

【浦川 康二 議員】

## 賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡 辺 勝 美	中 村 好 治	佐 藤 義 隆	林 田 哲 幸	坂 本 弘 樹	酒 井 恭 二	平 野 利 和	浦 川 康 二	大 久 保 信 一	深 堀 善 彰	上 田 篤	町 田 康 則	松 尾 文 昭	森 山 繁 一	前 川 治	小 畑 吉 時	元 村 康 一	井 上 武 久	小 田 孝 明	町 田 誠
雲仙市一般職の職員の給与に関する条例について	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度雲仙市一般会計予算案	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海外で戦争する国づくりをやめ、憲法に基づく平和外交を求める請願書	不採択	2:18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●

○賛成 ●反対

# 平成27年 第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 1 号	長崎県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	原案可決
議案 第 2 号	長崎県病院企業団規約の変更に関する協議について	原案可決
議案 第 3 号	雲仙市千々石農産物直売所の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 4 号	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 5 号	雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 6 号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案 第 7 号	雲仙市保育の実施に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案 第 8 号	雲仙市小浜資源リサイクルセンターの設置及び管理等に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案 第 9 号	和解について（農道整備工事に係る事案）	原案可決
議案 第10号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第11号	平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案 第12号	平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第13号	平成26年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第14号	平成26年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第15号	平成26年度雲仙市水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第16号	平成27年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案 第17号	平成27年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案 第18号	平成27年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案 第19号	平成27年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第20号	平成27年度雲仙市下水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第21号	平成27年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第22号	平成27年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第23号	平成27年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第24号	雲仙市の区域内にあらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案 第25号	市有財産の処分について	原案可決
議案 第26号	権利の放棄について	原案可決
議案 第27号	平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案について	原案可決
諮問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 5 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 6 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
請願 第 1 号	日本政府に「非核日本宣言」を求める意見書に関する請願書	採択
請願 第 3 号	海外で戦争する国づくりをやめ、憲法に基づく平和外交を求める請願書	不採択
発議 第 1 号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第 2 号	「非核日本宣言」を求める意見書について	原案可決



# 意見書を国へ送付しました



## 「非核日本宣言」を求める意見書

今年には広島・長崎の被爆から70年目を迎え、2015年核拡散防止条約（NPT）再検討会議が開催される節目の年である。

「核兵器をなくせ」と訴え続けてきた被爆者をはじめ国内外の声は、世界に響きわたり核兵器廃絶を求める世論とその流れは今日、世界の大部分になっている。

それは、一昨年の第68回国連総会軍縮委員会で、「核兵器禁止条約の交渉開始を」という発言が相次ぎ、「核兵器は非人道的であるがゆえに使用禁止・廃絶すべき」とする125カ国の共同声明が発表されたことに端的に示されている。さらに昨年の第69回国連総会軍縮委員会では、NPT第6条に明記されている核保有国の「核軍縮・撤廃へ誠実な交渉を行う」ことの約束不履行に対する批判が相次いで出され、「核兵器禁止条約の交渉開始」と核兵器の非人道性を告発し、その禁止を求める流れが急速に広がっている。

私たちは、「長崎を地球最後の被爆地に」することを心から願い、唯一の被爆国である日本政府が「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の遵守」を新たな決意のもと、国連総会や日本の国会などで内外に宣言し、これを「非核日本宣言」として各国政府に通知し、「核兵器のない世界」を1日も早く実現するための共同の努力を呼びかけることを求めるものである。さらに日本政府は世界の動きにこたえて、2015年核拡散防止条約（NPT）再検討会議が、核兵器廃絶の転機になるよう積極的な役割を果たされることを要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月24日

長崎県雲仙市議会

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣

## 議会のことば

### 討論

議会の会議において、表決の前に議題となっている案件に対して、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいう。討論は単に自己の賛否の意見を明らかにするだけでなく、意見の異なる相手を自己の意見に同調させようとつとめることにその意義がある。

討論の原則は討論一人1回の原則であり1度討論を行ったものはほかの討論者の意見に対して反対することはできない。

討論交互の原則で最初に反対者を、次に賛成者を発言させる。



# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
長崎県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議についてほか1件	原案可決
平成27年度一般会計予算案 ほか2件	原案可決
「日本政府に『非核日本宣言』を求める意見書に関する請願書	採択
海外で戦争する国づくりをやめ、憲法に基づく平和外交を求める請願書	不採択

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件、採択1件、不採択1件と決定しました。  
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

## 平成27年度一般会計予算案

**質疑** 公園の管理は各担当部署で行っているが、一元管理はできないのか。

**答弁** 平成28年度の組織機構の見直しの中で、普通財産を含めた管理体制の強化を考えており、公園の一元管理についても整理を行っていきたい。

**質疑** 顧問弁護士への報酬として、1カ月8万円、年間96万円が計上されており、今年度の相談件数は37件とのことであるが、一般的な弁護士との相談費用30分間5千円と比較した場合、報酬の額は高いのではないかと。また顧問弁護士を置くのであれば設置規定を設けるべきではないか。

**答弁** 設置規定については平成27年度から設け、報酬の額については今後検証していきたい。

**質疑** ふるさと応援推進事業において1億円の寄附を見込んでいるが、達成するためにどのような取り組みを考えているのか。

**答弁** 寄附額についてはクレジット納付を導入した自治体等を参考とした。寄附者への謝礼品として雲仙市の特産品117品

を準備しており、4月からのカタログ配布、インターネットによる申し込み、6月からのクレジット納付の開始に向け周知を図り、目標額達成に向け努力したい。

## 平成26年度一般会計補正予算(第8号)案

**質疑** 地方創生戦略策定事業において、委託料として約950万円が計上されているが、事業の丸投げではないか、雲仙市独自の総合戦略ができるのか。

**答弁** 策定に必要な試算や市民アンケートにかかる委託経費であり、総合戦略自体は市で策定する。

**質疑** 地方創生フォーラムを約400万円の予算をかけ10月に開催することであるが、このフォーラムは市民の声を吸い上げ、市全体としての機運を高めるのが目的であると思うが、時期が遅いのではないか。

**答弁** 市民との協議等を踏まえ、あらかたの方向性を整理したものをフォーラムにおいてお

示し、その中で議論を深めていきたい。

## 「日本政府に『非核日本宣言』を求める意見書」に関する請願書

本請願の趣旨に賛同できるとして、全会一致で採択すべきものと決定し、関係省庁へ意見書を提出することを全会一致で決定した。(意見書の文面については8ページに掲載)

## 海外で戦争する国づくりをやめ、憲法に基づく平和外交を求める請願書

**意見** 平成26年7月1日の閣議決定は、わが国を取り巻く安全保障環境が根本的に変化し続けている中で、新たな安全保障法制整備の基本を示されたものである。現在開会中の国会において、法案の具体的な内容を与党内で協議中であるが、協議の内容は、海外で戦争する国づくりのためではなく、国民の暮らしを守るための関係法令の整備であることから、本請願は不採択

が妥当である。全会一致で不採択すべきものと決定した。

## 現地調査

県消防本部・諫早消防署新庁舎の視察を実施した。(左写真)



# 総務

付託案件	審議結果
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例ほか2件	原案可決
平成26年度一般会計補正予算（第8号）案ほか2件	原案可決
平成27年度一般会計予算案ほか3件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決10件と決定しました。  
主な案件の質疑内容  
は次のとおりです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

**質疑** 市として教育大綱の策定期間はいつ頃を予定しているのか。

**答弁** 総合教育会議において策定を協議するが、27年度に策定し、28年度からは施行したい。

**質疑** 教育振興基本計画を策定するよりも、教育大綱を作成した方が実効性があるのではないのか。

**答弁** 教育大綱は、教育の目標や施策についての根本的な方針を定めるものである。教育振興基本計画は、教育の目標や施策についての根本的な方針の他にも、具体的な主要施策や実施方法、数値目標等を盛り込む予定にしている。

### 平成27年度雲仙市一般会計予算案

**質疑** みずほすこやかランド費において、歳入よりも歳出が多いが、運営改善についてどのように考えているか。

**答弁** みずほすこやかランドの

## 文教厚生

運営については、体育施設の利用者は増えているが、ふれあい会館の利用者は減っている。また、ふれあいプールや千年の湯は開設当初から比べると利用者が減っている。特に千年の湯については毎年赤字が累積しており、今度ポンプが故障した場合、今後はポンプの更新は考えていないが、それまでは継続する。また、施設自体も老朽化しており、今後大きな故障が発生した場合について教育委員会で早急に検討する。

### 平成27年度国民健康保険特別会計予算案

**質疑** 本市の保険税はモデル世帯で1世帯あたりどれ位になるのか。また、県下ではどれ位の位置にあるのか。

**答弁** 本市の場合、モデル世帯としては所得の平均が90万円である。この場合の税額は24万8千円であり、県内では3番目に高い。

**反対討論** 本市は県内でも3番目に高い国保税率となっている。

このように高い税金で困っている市民も多いため反対する。  
採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定。

### 平成27年度後期高齢者医療特別会計予算案

**意見** 医療費が高騰している中でデータヘルス計画は県下で一斉に実施する事業であるため連携を取り合い、保健指導を含めて医療費の抑制に努めてもらいたい。

**反対討論** 75歳と言う年齢だけでなく他の保険制度から隔離されている。また非常に高い保険料で多くの高齢者が苦しんでいるので反対する。  
採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定。

### 平成26年度一般会計補正予算（第8号）案

**質疑** 商品券多子世帯支援事業において、対象者を中学生以下の子どもがいる世帯としたのは何故か。

**答弁** 本事業は商工会に委託し



委員会の審査状況



小浜町金浜埋立地

ようと考えているが、補助金を交付するのに高校生以上になると養育しているかの確認が困難であるため。



# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
和解について ほか7件	原案可決
平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案 ほか4件	原案可決
平成27年度雲仙市一般会計予算案 ほか4件	原案可決
TPP交渉からの撤退を求める請願書	継続審査

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決18件、継続審査1件と決定しました。主な内容は次のとおりです。

## 和解について

**質疑** 議案質疑において、実質的に勝訴と考えているとの答弁であった。和解には、勝訴も敗訴もない。今でもその考えは変わらないのか。

**答弁** 和解であるため、勝訴、敗訴とは言えない。深く反省をしている。申し訳ありませんでした（本会議で訂正あり）。

## 平成26年度一般会計補正予算（第7号）案

**意見** 雲仙古湯地区街なみ環境整備事業が減額されているが、今後予定されている公園整備については、いいことではあるが、あまり利用がされないような状態が想定されるのであれば、極力簡素なものにしてもらいたい。

## 平成27年度一般会計予算案

**質疑** リフレッシュセンターおばまの運営費が増額された理由は。

**答弁** 消費税が5%から8%になったため、協定により引上げを行なった。

**質疑** 市営住宅使用料はほぼ市

営住宅の維持管理に使われている。市営住宅改善事業はいつまで継続されるのか。

**答弁** 現在のペースを維持しながら管理をしていきたいと考えている。

## 平成27年度水道事業会計予算案

**質疑** 今後、簡易水道事業特別会計の本会計への移行が予定されている。一般会計からの繰入れも厳しいと思うが、どのように考えているのか。

**答弁** 簡易水道事業債の償還などで本会計が圧迫され厳しくなることも見込まれる。財政担当部局と十分協議を行いながら、対応していきたい。

## 平成26年度一般会計補正予算（第8号）案

**質疑** 海外宣伝誘致事業において、どこに外国語案内板を整備するのか。

**答弁** 愛野展望台、橘公園など市内の風光明媚なところなどを予定している。

**質疑** プレミアム商品券発行事業は、市内各店で使いやすいものなどにもしてもらいたい。どう考えているのか。

**答弁** そのような意見を踏まえ、商工会と調整していきたい。

## TPP交渉からの撤退を求める請願書

**意見** 本請願はTPP交渉に関する国会決議を遵守し、守れない場合は交渉から撤退することとあるが、請願の本文では国益を守るためには交渉から撤退する以外にないとする。

決議を遵守しないということが前提になっている。

現在の状況では、決議が遵守されるのか、されないのか、わからないため、採決するには時期尚早である。よって継続審査を望む。

全会一致で継続審査すべきものと決定した。

## 現地調査を実施

平成27年度当初予算に計上されている事業を中心に9箇所の現地調査を実施した。



国見町神代小路地区

# 産業建設



# 市政を問う 11名の議員が一般質問



町田 康則…P12  
平野 利和…P13  
中村 好治…P13  
坂本 弘樹…P14

前川 治…P14  
松尾 文昭…P15  
浦川 康二…P15  
上田 篤…P16

深堀 善彰…P16  
林田 哲幸…P17  
小田 孝明…P17

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 農業・漁業の振興策は

### 農業の振興策は



まちだ やすのり  
町田 康則 議員

**町田議員** イノシシ対策

は、予算が本格的に計上された平成22年度から平成26年度まで、雲仙市内にワイヤーメッシュが300km、電気柵が100km張られ、平成18年被害額5980万円から平成25年には約870万円まで減少した。今、アライグマまで出回していると聞くと、その対策は。

**松尾産業振興部長**

昨年、

J Aの果樹部会を対象にアライグマ研修会を実施した。アライグマの判別が特定したら、講習会を開いてその対策を行いたい。

**町田議員**

日本の農業従事者のうち、65歳以上が6割を

### 漁業の振興策は

占めているという実態もあって農援隊支援事業は当を得た市の事業だが、市長の考えは。金澤市長 島原振興局・三市・J Aで島原地域雇用労力支援協議会を設立し、どうしたら継続的に農援隊を派遣できるか、システムを検討している。

**町田議員**

平成21年橋湾で

赤潮が発生し、養殖魚18万尾で2億7千万円、翌22年にも5万尾の被害があった。県は、平成23年赤潮防止の実証実験として、小浜町の沖200mの所に約5kmの範囲にわたり海底を砂でおおった。この実証実験の結果はどうだったのか。

**松尾部長**

その実証実験を

把握していない。

**町田議員**

ぜひ、県に聞き漁民に知らせるべきである。

# プレミアム付商品券



ひらの 平野 としかず 利和 議員

## プレミアム付商品券発行は

**平野議員** 国会にて経済再生の為にプレミアム付商品券発行事業の予算が成立したが、雲仙市での発行はどのようになるのか。

**金澤市長** 地元消費の拡大、地域経済の活性化の観点からプレミアム付き商品券を発行する。内容については平成21年度に実施した雲仙ゆめ未来商品券発行事業を十分精査し対応したい。

## ピロリ菌検査は

**平野議員** 市長の施策方針の中に特定健診で胃癌リスク

検査を追加するとあるが、ピロリ菌検査の事なのか。

**広瀬市民生活部長** ピロリ菌検査の事。

**平野議員** ピロリ菌検査が導入される特定健診を市民に受けてもらい、胃癌で亡くなる方を減らしていきたい。

## 国見町の神代橋の今後は

**平野議員** 地元では「神代橋は取り壊しになる」となっているが本当なのか。

**金澤市長** 地元で説明不足もあり申し訳ない。調査したうえで色々な問題点もあるだろうが、橋を存続する方向で十分検討していく。



国見町神代橋

# 雲仙市の将来の骨格は



なかむら こうじ 中村 好治 議員

## 地方創生の施策は

**中村議員** 雲仙市の将来を左右する地方創生の施策についてのは考えは。

**金澤市長** 人口の現状と将来の人口推計をしっかりと分析し雲仙市総合計画を策定する中で、将来像及び方向性を整理していきたい。

## 大塚政策企画課長

現在の本市総合計画の主要施策を検証し、策定に向けて取り組んでいく。現時点では取り組み方向性等の骨格となるものは示すことができない。

## 松尾産業振興部長

農業については、雲仙市農林水産振興計画を策定中である。今後農業者と漁協の方々と協議しながら進めたい。第1次産業

と観光がリンクする必要があることについては市内の魅力ある多くの農産物を観光客に堪能してもらうため観光協会と話し合いを進めながら考えていきたい。

## 広瀬市民生活部長

雲仙市を含む島原半島は環境問題を抱える大変良い学習フィールドであるという言葉をいただいている。今後環境関係の課題に大学とともに取り組んでいきたいと、3市の市長や振興局長に説明し一定の理解を得たので、連携を拡大できれ

## 半島振興法の延長、内容拡大は

**中村議員** 小浜、千々石の緊急道路整備として市道建設を半島振興法でできないか。

## 野口建設整備部長

国道57号線が被災した時、国道の代替道路を考えながら、あらゆる方向から研究していきたい。



# 不妊治療に市補助金を



**岸川市民福祉部長** 希望する妊娠・出産を実現できるよ

**不妊治療に市の上乗せ補助を**



さかもと ひろき  
**坂本 弘樹** 議員

**坂本議員** 不妊治療の補助金として現在、厚生労働省の特定不妊治療支援事業があり、1回につき15万円の給付がある。県内で3市町が既に上乗せ補助を実施し、今回の定例市議会に3市が上乗せ補助の予算案を上程している。雲仙市も上乗せ補助が出来るか。

うに、健康教育や広報活動等を行い啓発に努めるとともに、不妊治療の補助については、県内の動向等を注視しながら研究をしていく。

**市債権管理の一元化は**

**坂本議員** 自治法では、首

長は、債権の督促・強制執行をしなければならぬとある。市長の滞納は許さないとという姿勢が、滞納抑制効果を生み、債権を公平公正に一元管理することで、債務者に対し、厳しい対応が可能となり、債権回収に結びつく。一方で、生活困窮者である債務者に対しては、一元的に債権放棄を含めた手続きもできると思うが。

**金澤市長** 単独電算システム導入により、債権情報等の一元管理が可能となる。来年度以降、滞納に係る徴収事務の効率化を図るとともに、専門的人材の活用を含め徴収体制の強化に取り組む。

長は、債権の督促・強制執行をしなければならぬとある。市長の滞納は許さないとという姿勢が、滞納抑制効果を生み、債権を公平公正に一元管理することで、債務者に対し、厳しい対応が可能となり、債権回収に結びつく。一方で、生活困窮者である債務者に対しては、一元的に債権放棄を含めた手続きもできると思うが。

# 1年間の検討結果は

**愛野コミュニティセンターの建設構想は**



まえかわ おさむ  
**前川 治** 議員

**前川議員** コミュニティセンター建設については、一年前の議会では、一年かけて庁内で検討する、との答弁であった。今回の施政方針では、これから建設検討委員会を設置するとある。庁内での検討をされて、市長の構想は。

**金澤市長** 本市の中央地区として、にぎわいと交流を創出するまちづくりの拠点として、道路整備、バス停の集約を含め整備したい。

**酒井副市長** 庁内の検討委員会では、愛野地区だけの施設だけではなく、市全体を見て建設すべきとの考えで検討

してきたが、地域審議会等からの提案もあり、市全体の市民の意見を聞きながら検討したいとの考えで建設検討委員会の設置となった。

**ヒルクライム普賢岳大会の検証は**

してきたが、地域審議会等からの提案もあり、市全体の市民の意見を聞きながら検討したいとの考えで建設検討委員会の設置となった。

**前川議員** 事業内容の説明では、市の説明と実行委員会の見解、県の見解が違う。県は犯罪と見ていないようだが、被害者は誰か。

**松尾産業振興部長** 長崎県だと考える。県の補助金を詐取したということで、弁護士に相談し告発した。

**前川議員** 県は事業の評価をされると聞くが、市の評価は。

**松尾部長** 雲仙を県内外にPRすることで、市の認知度が高まり、地域活性化には寄与した。が費用対効果では、支出の方が多かった。



# 中心市街地の整備は



まつお ふみあき  
松尾 文昭 議員

愛野コミュニティセンターの建設は

**松尾議員** 当施設は雲仙市の将来のまちづくり、市民の利便性を見据えて、愛野地区のみでなく市全域の施設であると認識している。建設の基本的考えは。

**金澤市長** コンパクトで市民に親しまれる庁舎づくりを基本理念として取り組んでおり、庁舎整備の一環として、支所機能と公民館機能を有する複合施設として建設したい。

**松尾議員** 建設計画では26年度で基本構想の策定、29年度に建設予定となっておりが。

**大塚政策課長** 計画どおり平成30年度に完成するように



愛野町公民館

努めていきたい。

**松尾議員** 愛野の中心部のバス停の集約については。

**金澤市長** 島原半島の玄関口として、また本市の中央地区として市民の方をはじめ、市外からも集まりやすい恵まれた立地条件を考慮しつつ、まちづくりの拠点として周辺の道路整備やバス停の集約も含め整備を行う考えである。

他の質問  
・ 農業振興について  
新規就農者促進について他2件  
・ 商工業の振興について  
プレミアム付商品券について他2件

# 合併10周年目の施策



うらかわ やすじ  
浦川 康二 議員

当初予算の重点施策は

**浦川議員** 合併10周年目の重点施策で1、総合計画事業への取り組み2、人口減少対策への取り組み3、市制10周年記念事業の実施が示されているが各事業の内容は。

**畑中総務部長** 総合計画事業は、計画期間があと2年間と迫っており、各政策・施策の成果を精査し、特に数値目標に達していない項目の着実な推進を図る。人口減少対策については、国の地方創生施策と連携して、本市も人口減少対策プロジェクトチームを発足し、若者世代の定住意欲を高める施策等に取り組む。10周年記念事業は、雲仙市の歩みを振り返り、本市の未来への

の飛躍を祈念し、効果的な記念事業を開催する。

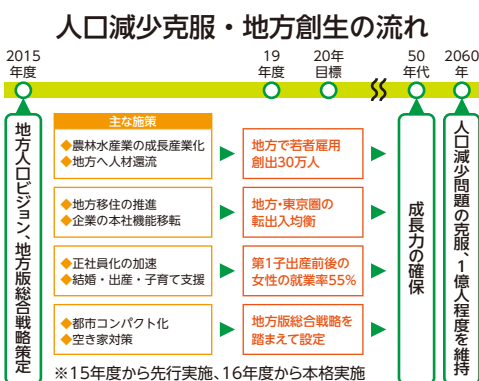
**浦川議員** 総合計画事業の数値目標の達成率は。

**畑中部長** 平成25年度末で数値目標110件中27件である。

**浦川議員** 地方創生法に基づく、人口ビジョン及び総合戦略策定組織及び完成時期は。

**大塚政策企画課長** 地方創生本部を設置し、市民及び各分野の有識者で構成し、完成は遅くとも12月までには策定する。

**浦川議員** 10周年記念事業は、記念式典・市民運動会・産業祭及び記念誌の発行等が計画されているが、市民と共に意義ある記念事業を期待する。



# 何のためのJA改革か



うえだ あつし  
上田 篤 議員

## 農協つぶしと地方創生は矛盾する

**上田議員** 農協「改革」とはどういうものか。それは雲仙市にどういふ影響をもたらすのか。地方創生とは相矛盾するのではないか。

**金澤市長** 国会に法案が出されていないので、詳細に説明できない。本市の基幹産業は農業であり、島原雲仙農協は本市農業の活性化を図る上で重要な役割を担っている。

**上田議員** 法案が出てきてからでは遅い。農協に限らず、全国的な組織団体にはローカルセンター、ナショナルセンターがあるのは当然で、それがないければ目的や理念を達成できない。JAは正・准組合

員合わせて1000万人もの団体だ。このセンターを廃止せよというのは非常識であり、無礼だとの指摘もある。

## 松尾産業振興部長

政府のすすめる改革は5点ある。①信用事業の事業譲渡、代理店化。②准組合員の利用制限。

③自治会制度④全農の株式会社化⑤中央会制度。雲仙市にとって農協は重要な組織だ。

できるだけ影響がないような方策を考えたい。

## 上田議員

全国にJAは694あり、ほとんどの組合長が回答したアンケートでは全国農業協同組合中央会(全中)に大きな問題はないとする答が約95%だ。それなのに全中を解体するのは大問題だ。



市内のJA島原雲仙支所

# 国保・教育行政・道路



ふかほり よしあき  
深堀 善彰 議員

## 国保事業の運営は

**深堀議員** 国民健康保険事業に対する本市の現状と対策は。

**金澤市長** 構造的な問題として、所得の低い加入者が多く年齢構成が高いため、1人当たりの医療費が高い。平成26年度は、単年度収支で約3億円の赤字が見込まれ、年度末の基金残は約1億2千5百万円となる。その内1億円を平成27年度で取り崩す予定から、基金残は約2千5百万円となる見込みである。

## 広瀬市民生活部長

国における今後の制度改革の動向を見極めていく必要があるが、法定外繰り入れ(一般会計よりの支援)を視野に入れた運営を余儀なくされると考えている。

## 道路行政は

**深堀議員** 早期に整備された道路舗装の劣化や白線の消滅などの対策は。

## 野口建設整備部長

市道の大半が整備後、相当の年数を経ている。白線の消滅、舗装面の亀裂、陥没の発生などが多数見られ、十分な対応ができていない現状である。今後は、集落内の道路や通学路など、住民生活に密接に関係している市道において、利用者が安全に通行できる環境保全のための維持管理を重点的に行っていく必要がある。また、主要な幹線市道は、平成26年度において、道路施設の劣化も含めた状況調査を行っており、今後は、この成果を基に、道路の補修対策を計画的に進める。

## 他の質問

- ・ 小中学校の設置運営の在り方について
- ・ 体育施設の維持管理について
- ・ スポーツの振興について



## 思いきった施策を

### 定住促進対策は



はやしだ かつゆき  
林田 哲幸 議員

**林田議員** 現在、新築住宅だけが対象となつている定住促進奨励補助金を中古住宅にも拡充してはどうか。

**大塚政策企画課長** 中古住宅の活用は大変有効だと思うので、現在の交付金の活用も見据えながら制度の拡充について検討している。

**林田議員** 人口を増やす、来てもらうことだけを考えれば、思い切った施策が必要ではないか。

**大塚課長** 今多くの自治体で定住促進対策に取り組んでいるので、雲仙市に興味を持ってもらうきっかけになるような制度を構築していくことが大変重要なことだと考える。

### 観光振興は

**林田議員** どのような形で観光振興を進めていこうと考えているのか。

**立石観光物産課長** 東アジアを中心とする旅行会社へのセールスを強化し、また、旅行会社、マスメディアなどに対して、旬な観光情報をタイムリーに届ける。旅行商品の造成やマスメディアの露出を高めていくようなPRに繋がっていくことで、細やかに継続して情報発信を展開するなど、県観光連盟や島原半島観光連盟と連携しながら、積極的に誘客に取り組んでいく。



4カ国語表示の看板

## 田舎に住みたくなる

### 地方は活力を生む



おだ こうめい  
小田 孝明 議員

**小田議員** 合併して10年、6千人程減少した。議会でも婚活や定住促進対策等具体的に調査検討し提案してきた。

今、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、強力に地方の活性化を図ろうとしているが市長の取り組みは。

**金澤市長** 本市の特性を生かし、人口ビジョンと総合戦略を策定する。国の支援策を最大限活用し、人口減少及び経済活性化に向け、私自身が動き、全庁的な取り組みを強化していく。

### 小規模校の良さを生かす

**小田議員** 文部科学省が、60年ぶりに、公立小中学校の

統廃合の手引きを発表したが、教育長はどう考えるか。  
**山野教育長** この手引きでは一定の集団規模を確保することが望ましいこと。地域の事情において小規模校を存続させる場合は、教育活動を工夫する必要があると言ったことを具体的に示し、市町村の主體的な検討を促している。本市では平成27年度は8校が複式学級になるが、早急に統合する考えはない。  
今後、児童数の推移を注視し、保護者、PTA、地域の皆さんの声を参考にし、慎重に検討していく必要がある。



地方創生に国見町多比良港埋立地



# 議会のうごき



1月29日 (木)

## 第5回雲仙市社会福祉大会

愛野町公民館講堂において開催されました第5回雲仙市社会福祉大会に大久保議長が出席し、祝辞を述べました。

本市の社会福祉事業に貢献されている方々も多く参加されており、そのご苦勞とご功績に敬意と感謝を申し上げます。

2月5日 (木)

## 第9回雲仙市美術展覧会オープニング行事

2月5日から8日まで国見町文化会館で開催された第9回雲仙市美術展覧会のオープニングイベントに大久保議長が出席し、テープカットを行いました。

多くの市民の方々が、美術への関心を高めるよい機会になったものと思います。



3月19日 (木)

## 香川県土庄町との意見交換会

南串山町との歴史的繋がりが深い、香川県土庄町の三枝町長をはじめ6名の皆さんが雲仙市役所を訪問され、今後の交流の方向性などについて協議を行いました。

意見交換会には、金澤市長は勿論のこと、市議会からも5名の議員が出席しました。

3月28日 (土)

## 雲仙市立木場保育所閉所式

千々石町にある雲仙市立木場保育所の閉所式が木場保育所で開催され、市議会から町田副議長をはじめ5名の議員が出席しました。

先生方や保護者の皆様、地域住民の方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。





○一般質問での「道の駅」を地方創生にと言っておられるのを見て、雲仙市にも1箇所つくってもらいたいと思います。先日、雲仙市商業部会で福岡地区でいちばんの道の駅『むなかた』を視察してきました。農産部、水産部、加工部、地元産が90%以上と説明があり感動しました。行政と組んでやらないとできないと思いました。

(瑞穂町 清水 利昭さん)

## 広報委員会視察研修

2月3日～4日、南九州市（鹿児島県）と上天草市（熊本県）で議会広報についての視察研修を行いました。

●**南九州市** 写真が多くて見やすい紙面ですが、文字が小さい点が気になりました。市民の声という企画には2人の市民が登場し、議会や行政に対しての提言をしています。

●**上天草市** 表紙はフルカラーで本文は2色刷りです。（本市は全頁フルカラー）レイアウトは文字量も少なく、読みやすいものです。議案質疑の様子が詳しく紹介してある点は、本市でも検討の余地がありそうです。



問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

-----  
-----  
-----  
-----

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

-----  
-----  
-----  
-----

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。（お手数ですが、52円切手をお貼りください）

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。



# 議会を傍聴してみませんか？

平成27年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は  
**6月3日（水）～6月26日（金）**です

■一般質問	6月 8日（月）～11日（木）
■議案質疑	6月15日（月）
■委員会	
文教厚生常任委員会	6月16日（火）17日（水）
産業建設常任委員会	6月18日（木）19日（金）
総務常任委員会	6月22日（月）23日（火）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。  
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

## 編集後記

市制10周年目を迎えた雲仙市は、深刻な人口減少対策が大きな行政課題となっています。国の政策として取り組まれる地方創生と連携し、雲仙市の人口ビジョン及び総合戦略の策定が急務ではありますが、議会としても執行部と一体となって具体的な人口減少対策に取り組んでいきたい。  
(浦川 康二)



### 議会広報編集特別委員会

委員長 浦川康二  
副委員長 佐藤義隆  
委員 上田 篤、林田哲幸  
中村好治、渡辺勝美

## 郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが  
52円切手を  
お貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局  
「議会広報編集特別委員会」 行

(議会だより42号)

ふりがな  
ご氏名

ご住所

電話番号(            )-(            )-(            )